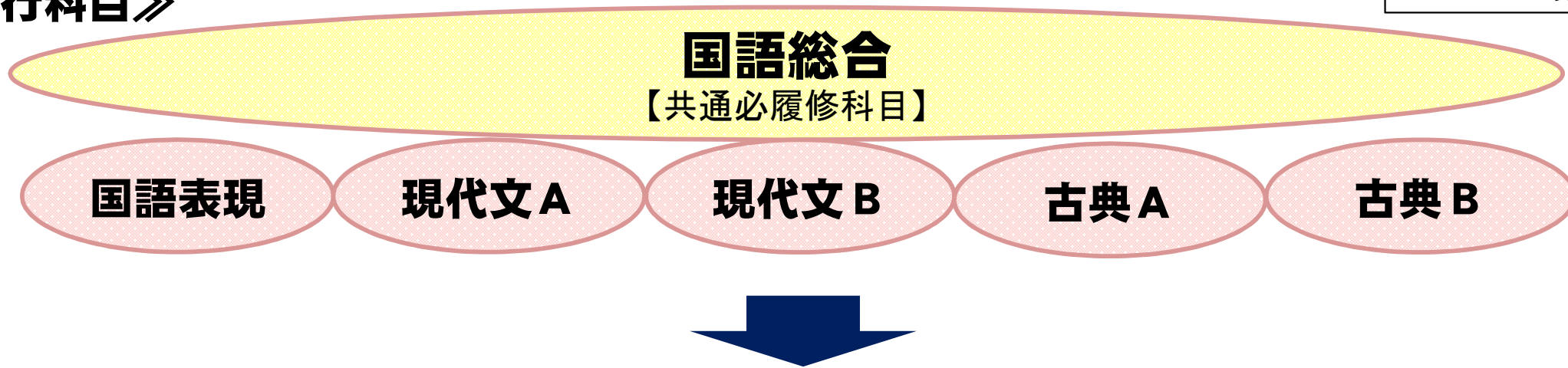


《現行科目》



《改訂の方向性（案）》

共通必修履修科目（案）

【現代の国語（仮称）】

実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目
・実社会・実生活における言語による諸活動に必要な国語の能力
(根拠に基づいて論述したり議論したりするために必要な能力、また、それらの能力の育成に必要な、多様な資料等を収集して解釈する能力 等)

【言語文化（仮称）】

上代(万葉集の歌が詠まれた時代)から近現代につながる我が国の言語文化への理解・関心を深める科目
・言語の文化的側面(我が国の歴史の中で創造され、上代から近現代まで継承されてきた文化的に高い価値をもつ言語そのもの)への理解・関心を深め、これを継承していく一員として、自身の言語による諸活動に生かす能力

選択科目（案）

【論理国語（仮称）】

多様な文章等を、多角的な視点から理解し、**創造的に思考**して自分の考えを形成し、**論理的に**表現する能力を育成する科目

【文学国語（仮称）】

小説、随筆、詩歌、脚本等に描かれた人物の心情や情景等を読み味わい、表現の仕方等を評価するとともに、それらの**創作に関わる**能力を育成する科目

【国語表現（仮称）】

表現の特徴や効果を理解した上で、自分の思いや考えをまとめ、適切かつ効果的に表現して他者と**伝え合う**能力を育成する科目

【古典探究（仮称）】

古文・漢文を**主体的に**読み深めることを通して、我が国の伝統的な言語文化への理解・関心を深める科目

高等学校国語科の科目構成の検討について（主な意見）

現代の国語（仮称）

- ・ 実社会・実生活における言語による諸活動に必要な言葉の特徴やきまりについて、言語活動を通して指導することが必要。
- ・ 社会に出て困らない程度の日常生活の書式などについても含めてはどうか。
- ・ 実際の社会生活で経験する言葉というのは、映像音声と文字とが混在しているものが圧倒的に多い。映像を含む多様なメディア表現を扱うことは非常に重要である。
- ・ 名称については、昭和35年、45年改訂の「現代国語」と名称が似ているので、「言語生活」としてはどうか。

言語文化（仮称）

- ・ 古典と近現代の文章の両方の教材を活用しながら、伝統的な言語文化の理解を図る科目と考える。
- ・ 言語文化を、社会や自分との関わりの中で生かす、捉えるという科目であることが分かるように記載してほしい。
- ・ 私たちがいま使っている言葉の下支えとなっている、漢文の書き下し文の語調なども学んでほしい。
- ・ 古典の言葉と現代の言葉のつながりに気付くことを通して、言葉の特徴やきまりを理解する指導が必要。
- ・ 文法嫌いが生む古典嫌いの問題を解決するためには、文語のきまりや訓読のきまりなどに歯止めをかけ、文法中心の科目にならないよう、示し方に注意が必要である。
- ・ 我が国の書き文字の文化やその歴史的背景についても含めてはどうか。

論理国語（仮称）

- ・ 「国語表現（仮称）」との違いが分かりにくいので、例えば、創造的思考や批判的思考といった言葉を使って説明してはどうか。
- ・ 漢文などから論理の思考が養われることもある。古典的な文章も論理的な思考に生かしていけるのではないか。

文学国語（仮称）

- ・小説等の文学的文章を創作する力については、高校現場の感覚として、創作する活動としては成り立つが、能力とするのは、少し踏み込みすぎのように感じる。
- ・立派な文学作品を創作するということではなく、自分を表現する一つ的手段として、創作というものを、学校教育の最終段階に位置付け、生活を豊かにするという観点で展開していくことも必要。

国語表現（仮称）

- ・その文章にどのような表現の特徴があるのか、なぜそういった表現の特徴がこの文章では使われているのか、といったインプットをした上で、アウトプットとして表現する科目としてはどうか。
- ・映像を含む多様なメディア表現を扱うことは非常に重要である。

古典探究（仮称）

- ・“国語としての古文・漢文”を学んでいくという意識付けを、もう少し明確に打ち出してほしい。
- ・文法嫌いが生む古典嫌いの問題を解決するためには、文語のきまりや訓読のきまりなどに歯止めをかけ、文法中心の科目にならないよう、示し方に注意が必要である。

高等学校国語科における読書活動の展開について

各科目において育成する資質・能力は、それぞれ以下のような図書等を読むことと密接に関わるため、各科目において、高校生がそれぞれの読書の意義や価値を実感をもって認識することにつながるよう指導の充実を図り、生涯にわたる読書活動への展開を図る。

現代の国語（仮称）

- ・ 説明文、評論文、小説、新聞、雑誌
- ・ 音声・画像等を含む資料（CD、DVD、Web上の動画やテキスト等）
- ・ 行政機関や調査機関が発行する報告書、解説書

等

言語文化（仮称）

- ・ 高校生向けの古典に関するシリーズ本
- ・ 古典に関する概説書（口語訳を含む）
- ・ 古典を素材にしたり翻案したりした近代の小説、歳時記

等

論理国語（仮称）

- ・ 社会科学、人文科学、自然科学をテーマとした新書
- ・ 概説を含む評論・論説本
- ・ 一般の読者を対象とした専門書

等

文学国語（仮称）

- ・ 小説（純文学、大衆娯楽小説等）、物語、詩集、和歌集、句集
- ・ 文学作品に対する評論、詩歌に関する評論や解説本
- ・ 文学を中心とした人文科学に関する新書

等

国語表現（仮称）

- ・ 説明文、評論文、小説、新聞、雑誌
- ・ 優れた表現としての音声・画像等を含む資料（CD、DVD、Web上の動画やテキスト等）
- ・ 行政機関や調査機関が発行する報告書、解説書、企業等による多様な広報文書
- ・ コミュニケーションや言語表現をテーマとした新書

等

古典探究（仮称）

- ・ 高校生向けの古典に関するシリーズ本
- ・ 古典に関する概説書（口語訳を含む）
- ・ 古典を素材にしたり翻案したりした近代の小説
- ・ 古典に関連した文庫本、新書

等